

令和5年度天皇誕生日祝賀レセプション 林大使挨拶

2024年2月7日 於大使公邸

本日は、令和5年度天皇誕生日祝賀レセプションにお越し頂き、誠にありがとうございます。私が駐ブラジル大使として3回目となる天皇誕生日祝賀レセプションを、皆様とともに盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。

本日のレセプションは、2019年に即位され、今月2月23日に64歳になられる、第126代・徳仁（なるひと）天皇陛下の御誕生日を祝して開催するものです。徳仁天皇陛下は、当時皇太子殿下として、1982年に国際親善のため、2008年に日本人ブラジル移住100周年の機会に、また、2018年に世界水フォーラム出席のため、ブラジルを三度訪問されました。このように陛下は、ブラジルとは深いつながりを持っています。

さて、日本とブラジルは、自由・民主主義・法の支配・人権といった基本的価値を共有する「戦略的グローバルパートナー」です。昨

年は小渕優子特派大使の大統領就任式参列や当時の林外務大臣の訪伯に始まり、二国間関係が深化した年でした。5月には日本が議長国を務めたG7広島サミットの際に、ルーラ大統領が訪日され、日伯の友好関係は一層深化しました。その結果の一つが、皆様もご存じかと思いますがブラジル人に対する短期滞在査証免除措置で、これは両国関係史上初の出来事でした。

昨年9月末にこの措置が導入されてから、更に多くのブラジル人の方々が訪日されており、査証免除措置導入直後である昨年10月のブラジルからの訪日観光客数は7265人で、コロナ前の2019年の同月と比べて、なんと56%も増加しました。引き続き、より多くの皆様が気軽に日本を訪れ、様々な魅力にあふれる日本を満喫されることを願っています。また、観光の促進を契機として、更に人的交流、経済・文化交流が一層活性化するよう我々大使館も尽力してまいります。

さらに本年は、両国が「戦略的グローバルパートナー」として、国際社会の課題に緊密に連携しながら対処していくにあたり、重要な機会を提供しています。今年の日伯関係は1月10日のルーラ大統領と岸田総理の電話会談で幕を開けました。両首脳はブラジルが

今年議長国を務めるG20での協力、貿易投資関係の促進などで一致しました。先週には、2025年の大阪関西万博におけるブラジルのパビリオンの準備のために、APEXのホルヘ・ヴィアナ総裁が訪日されました。今年はG20関連会合に日本からも数多くの政府要人の訪問が見込まれており、この機会に、更なる二国間関係の強化を進めてまいります。

経済面でも、日本とブラジルは長年に渡る協力関係があります。現在ブラジルでは約700社の日本企業が活動しており、日ブラジル経済関係促進の重要な役割を担っております。昨年末には税制改革法案が採択されました。これを景気にブラジルのビジネス環境が改善して、日伯間の経済活動がより活発化することを強く期待しています。

本日のレセプションでは、日本関係企業が自社製品を展示しておりますので、ご紹介させていただきます。皆様からみて右側には、丸紅の子会社であるイグアスコffeeがインスタントコーヒーの試飲を行っています。日本酒コーナーでは、当館が厳選した3種類の日本酒に加え、日本を代表する梅酒メーカーであるチョーヤ社の梅酒

と柚子酒を味わえます。スポーツシューズで有名なアシックス社のブースでは、自社の高機能で有名なシューズを展示しています。ジョギング好きの方はこの機会にぜひご覧いただければと思います。皆様の左側には、日本を代表する旅行会社であるJTB、及び航空会社のJALとANAが日本観光の紹介ブースを設けておりますので、ぜひ旅行のプロたちに、皆様の次の旅行先のご相談をさせていただきます。

また舞台横には、ホンダの二輪車、トヨタ、ホンダ、スズキ、三菱の自動四輪車を展示していますので、是非お近くでご覧ください。

ただいま、ご紹介しましたように、今年、日本とブラジルの関係は、政府、議会、経済、日系社会など様々な分野で一層の発展が期待されます。私としても日ブラジル関係を更に強化するために最善を尽くして参りますので、皆様のご支援のほど宜しくお願いします。最後に、ご列席の皆様のご繁栄、日ブラジル関係の更なる発展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

(了)